

私たちが主役！いっしょにつくろう ほほえみのまち・扶桑＝健康寿命の延伸

『第2次 健康日本21扶桑町計画』を見直しました！

扶桑町では、2014（平成26）年3月に「第2次 健康日本21扶桑町計画」を策定し、町民の皆さんの健康づくりを推進してきました。このたび、計画策定後5年が経過したため、2019（平成31）年3月に中間評価と計画の見直しを行いました。



■施策の各指標の評価

① 心疾患、脳血管疾患、糖尿病、がん

【主な課題】

- 糖尿病などの「内分泌、栄養及び代謝疾患」と「循環器系の疾患」の受診率が県平均に比べ高く、医療費の面でも、多くを占めており、糖尿病と循環器疾患の予防は本町の重要課題となっています。
- 本町のがん検診受診率は、県平均を下回っており、早期発見・早期治療のため、更なる受診勧奨が必要です。



<今後の取組と方向性>

- ▷住民が楽しみながら健康づくりに取り組める健康マイレージ事業の充実
- ▷糖尿病の予防、重症化予防のため、「糖尿病歯科健診」の継続実施
- ▷健(検)診について、休日開催や託児をもうける等、受診環境の整備 等

② 栄養・食生活

【主な課題】

- BMI（肥満度）の有所見者の割合は、年々増加しています。肥満は糖尿病や循環器疾患の要因と考えられます。
- 20～30歳代の女性ではやせが多くなっており、将来、骨粗しょう症やフレイル(虚弱)等につながる事が予測されます。

<今後の取組と方向性>

- ▷県と協働し、住民が自身の健康への関心を高める事業を実施
- ▷青年期や壮年期に対する食の適正量や食事バランスの情報を発信 等



③ 身体活動・運動

【主な課題】

- 運動習慣者は微増しています。生活習慣病予防のためにも運動習慣者を増やす取組が求められます。
- 住民に運動を習慣化してもらうためにも地域における人材育成（健康づくりリーダーの養成）が求められます。

<今後の取組と方向性>

- ▷健康づくりの担い手となる、健康づくりリーダーなどの指導者の育成を推進
- ▷簡単に効果のある「ふそうテイクテン体操」の普及啓発 等



④ 休養・こころの健康

【主な課題】

- ゆったりとした気分で子どもと過ごせる人の割合が、わずかながら減少しており、対策が必要とされます。
- こころの悩み相談室の利用者数が急増しており、相談体制や対応の充実をさらに進めていく必要があります。

<今後の取組と方向性>

- ▷子育ての悩みや困りごとなど相談に対応する子育て世代包括支援センターの充実と周知
- ▷乳幼児相談などの相談窓口や、新生児訪問指導・こんにちは赤ちゃん訪問指導の充実 等

⑤ 飲 酒

【主な課題】

○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人が増加しており、飲酒リスクに関する周知啓発が求められます。

<今後の取組と方向性>

▷生活習慣病のリスクを高める飲酒量と飲酒の害について、広報やホームページ等での周知 等

⑥ 喫 煙

【主な課題】

○子どもがいる家庭の家族内喫煙者の割合が高く、乳幼児の受動喫煙が及ぼす影響について周知啓発が必要です。

○妊娠中に喫煙をしている妊婦の割合が高くなっており、妊婦の喫煙リスクについて、更なる周知啓発が求められます。

<今後の取組と方向性>

▷喫煙が胎児や子どもに及ぼす影響についての知識の普及啓発 等



⑦ 歯・口腔の健康

【主な課題】

▷歯科受診率および一人あたりの医療費が増加しており、予防歯科をさらに推進していく必要があります。

<今後の取組と方向性>

▷ライフステージに応じた歯科疾患の予防として、乳幼児期から学齢期はむし歯および歯肉炎予防、青年期・壮年期・高齢期は歯周病予防に重点を置いた取り組みを実施 等

■指標の変更等

中間評価の結果をふまえ、指標として4項目を追加、2項目を廃止、4項目は目標値を変更しました。

【廃止する指標】	理由等		
内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病等）の受診率	国保データベースシステム（KDB）の導入により集計方法が変更されたため ※代替の指標は【追加する指標】を参照		
歯及び歯の支持組織の疾患の減少			
【追加する指標】	指標目標		理由等
	基準値 (2017年度)	目標値 (2023年度)	
糖尿病の医療費割合の低下【KDB】	12.2%	減らす	【廃止する指標】に代わる指標
成人・糖尿病・後期高齢者歯科健診受診率の向上 ○45～65歳の間で5歳刻みの年齢の人と前年度の特定健診の結果HbA1c5.6以上の人	6.4%	増やす	
○後期高齢者	3.8%	増やす	
まいか（優待カード）発行数	20枚	100枚	ふそう健康マイレージ利用者の増加の指標
【目標値を変更する指標】	目標値		理由等
	策定時 (2012年度)	見直し後 (2023年度)	
子どもの仕上げ磨きをしていない人の減少 ●1歳6か月児 【乳幼児健診】 ●3歳児 【乳幼児健診】	5.0%以下 3.0%以下	4.0%以下 2.0%以下	中間評価（2017年度）にて策定時の目標値を達成したため、さらに高い目標値を設定しました
う歯のない子どもの増加 ●3歳児 【3歳児健診】 ●12歳児 【歯科健診報告】	95.0%以上 77.0%以上	98.0%以上 85.0%以上	

計画の詳細についてお知りになりたい方は、ホームページを御覧ください。

* この記事に関するお問い合わせは、保健センター（TEL：93-8300（ファックス：93-6700））